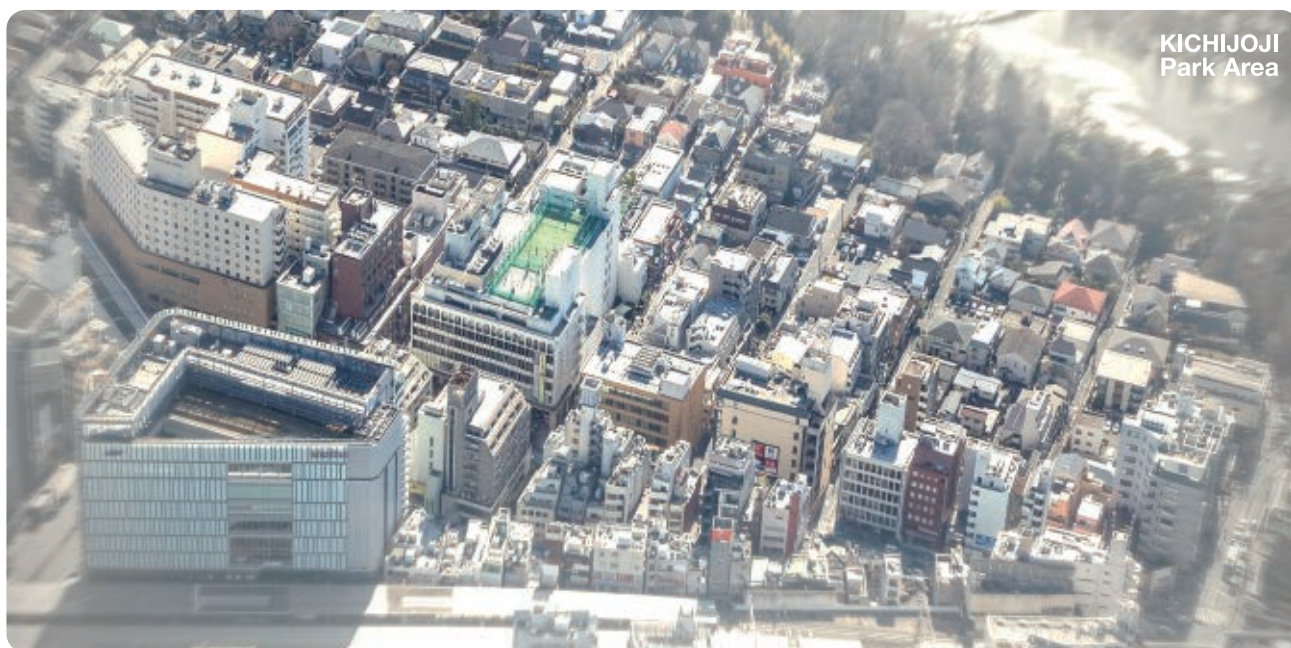


吉祥寺 KICHIJOJI パークエリア

第1号

きちば未来通信

きちば未来通信、はじまります。



吉祥寺パークエリアの まちづくり情報をお届けします！

吉祥寺駅南口から井の頭恩賜公園へとつながるエリアである「吉祥寺パークエリア」。

このエリアは個性的な店舗が集まる商業地域や閑静な住宅地などの魅力を持つ一方、歩行者やバスなどの交通環境に課題を抱えています。

こうした中でパークエリアが魅力的な場所であり続けるために、市民やまちに関わる人たちが同じ方向を目指して、ともにより良いまちづくりを進めていくために「共通の行き先」となる「まちの将来像」を考えることが必要です。

そこで令和5年3月に「吉祥寺パークエリアまちの将来像立案に向けて」をまとめ、これま

で武蔵野公会堂での社会実験や出張型の展示、まちあるき企画や周知等に取り組んできました。

今年度は、これまでの公会堂での社会実験に加えて全3回の“市民講座”や「まちの将来像」の立案に向けたキックオフイベントとなる“シンポジウム”を開催します。

「パークエリア」の未来を一緒に考えたい

これからは、市民の皆さんの意見を伺いながら「まちの将来像」の策定に取り組めます。

そのために、少しでも多くの人たちにまちづくりに興味を持ってもらいたい、関わってもらいたい。そんな想いを「きちば未来通信」にして届けていくことにしました。

「まちの将来像」の策定に向けた様々な情報を定期的に発信していきます。ぜひ楽しみに。

第1回 市民講座

「古地図から見る吉祥寺発展史」を開催しました!

～吉祥寺の今と昔をつなぐ時間～

市民のみなさんとの情報共有を目的として、今年度から新しくスタートした市民講座。

今年度全3回のうち、第1回目となる今回は8月18日(日)に武蔵野公会堂にて、成蹊大学の小田宏信副学長をお招きし、古地図を使い吉祥寺のまちの成り立ちについて、ご講義いただきました。

20代から70代までの幅広い年齢層の方たちが参加し、会場は満席に。地元の方を中心に関心の高さが伺えました。当時の写真や地図、小田先生の学生時代の記憶なども織り交ぜながら吉祥寺一帯の今昔が語られました。

明暦の大火を機に、路村として広がりを見せ武蔵野台地上の開発が進んだことや、戦後の区画整理で宅地化が進んだという現代までの移り変わり。他にも、昭和初期、武蔵野公会堂辺り一帯に鉱山開発などで成功を収めた実業家・飯田延太郎の「飯田別荘」があったという話も。なんと国の登録有形文化財(建造物)に登録され



ている旧赤星鉄馬邸よりも広い、池のある巨大庭園だったそうで、市民にもあまり知られていない情報も知ることができました。

参加者からは「パークエリアの将来像づくりに何らかの形で関わっていきたい」「武蔵野エリアマップを手にまちを歩いてみたい」といった声が寄せられ、改めて吉祥寺の特徴や魅力に気づく時間となりました。

次回予告

第2回 市民講座

「商業まちづくり」と吉祥寺

地域コミュニティ形成による
まちなかの賑わい創出について学びます。

- 講師** 靱山 真人 (東京女子大学特任教授)
- 開催日** 令和6年10月26日(土)
- 時間** 午後2時30分から4時まで
- 場所** 武蔵野公会堂
第1・第2合同会議室
- 申込締切** 令和6年10月15日(火)

講座詳細やお申し込みはこちら



お知らせ

デジタルプラットフォームアプリ 「common」の活用スタート



“common”は、好きな地域の情報の投稿や閲覧などができるスマートフォンアプリです。

パークエリアの取り組みについて、市からも発信していきます。みなさんも好きなパークエリアの場所やお店など気軽に投稿してみてください。



詳細やダウンロードはこちら



吉祥寺パークエリア
KICHIJOJI PARK AREA

きちば未来通信

発行者

武蔵野市 総合政策部 資産活用課 都市機能再構築担当
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 ☎ 0422(60)1982

2024年9月21日発行

第1号